



みなとみらい

MINATOMIRAI

脱炭素へ

みなとみらいは「脱炭素先行地域」です

皆TRY
みなとみらい

脱炭素先行地域とは？

2050年カーボンニュートラルに向けて、「地域脱炭素ロードマップ」に基づき環境省が公募する地域で、2030年度までに「民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロ」などの要件を地域特性に応じて実現する地域です。「みなとみらい21地区」は、2022年4月に「脱炭素先行地域」に選定されました。公民で連携し、2030年の脱炭素化に向けて取り組みを進めていきます。

脱炭素
先行地域
での取組



再エネ導入

設置可能な施設等への太陽光パネルの導入や再エネ電力への切替えを促進します



LED化

最大限の省エネを地域一体で推進するため、積極的なLED化を進めます



脱炭素交通

EVカーシェアなどによる移動手段の電化などモビリティの脱炭素化を目指します



電力デマンドレスポンス

地域一体でまとめて節電を行い、夏や冬の電力不足緩和へ取り組みます



熱の脱炭素化

MM中央地区は、各施設の空調用の熱を地域冷暖房により一括で製造し供給しています。この熱の低・脱炭素化に取り組みます



廃棄物の削減・リ活用

食品残渣やペットボトルなどの更なるリサイクルに取り組みます



イベント活動・発信

脱炭素+SDGsの視点をイベントに取り入れ、訪れた人の行動変容に繋がります

みんなで少しずつ脱炭素な街に！

具体的な取組

オフィス

省エネルギー・節電

脱炭素化には、日ごろから省エネに取り組むことが重要です。また電力逼迫には複数施設で協調し、地域単位で節電に取り組むことも重要です。

照明のLED化

蛍光灯や白熱電球に比べLEDは節電効果が高く、発熱も抑えられます。

資源循環

ペットボトルのラベルはがしや、ごみの分別を徹底することで資源となり、CO2削減に繋がります。

社用車のEV化

EVは走行時に二酸化炭素を排出しません。

EVカーシェア

EVカーシェアの普及で脱炭素化に加え地域の移動も便利になります。

公共交通機関の積極利用

公共交通機関は、自動車と比べ二酸化炭素排出量が少ない乗り物です。

イベント

脱プラスチック

バイオマスプラスチック容器、自然素材を使った循環型食器等の活用や使い捨てのプラスチック製スプーン・フォーク等を使わないことで、脱プラに繋がります。

イベントで使用する電気の脱炭素化

環境価値の調達や発電機の燃料を低炭素燃料にすることで、イベント等で使用する電力も脱炭素化できます。

SNS等での発信

脱炭素やSDGsに関するイベント・活動をSNS等で発信することが、取組の応援に繋がります。

店舗

簡易包装の実施

「袋は必要ですか？」の確認や、過剰な包装の削減が資源の節約に繋がります。

飲食店での食品ロス削減

小盛りの希望を伝えるなど食べきれぬ量の注文や、食べきれなかった料理の持ち帰りが食品ロス削減に有効です。

食べきり協力店

食品ロス削減に取り組む飲食店等を横浜市がWEBサイトで紹介しています。詳しくはこちらから→

プラ製カトラリー・レジ袋は最低限に

プラ製カトラリー・レジ袋について要否の確認や環境にやさしい素材への変更が脱プラに有効です。

小売店等での食品ロス削減

客数予測による商品の仕入れや割引販売の実施、販売期限が迫ったものから積極的に購入する「てまえどり」が食品ロス削減に繋がります。

みなとみらいの事業者・ご家庭の皆様へ

事業者の皆様を取組を教えてください！

皆様の事業者・店舗で取り組んでいる脱炭素に向けた活動を教えてください。これから始める方や上記以外の取組でも問題ありません。二次元コードよりご登録いただいた方にロゴ入りオリジナルステッカーをプレゼントいたします。



ご家庭の電気、再エネにしませんか？

ご家庭の電気を再生可能エネルギー電気に切り替えることも脱炭素に繋がります。売り上げの1%を地域の環境保全活動に還元する、みなとみらい21地区限定再エネ特別プラン「みなとみらいオクトパス」申込募集中！詳しくはこちらから→



オリジナルステッカーが貼ってある店舗等を見つけたらぜひご利用ください！